

# 二宮河村夜話

今和六年 第2回 3/27 (水) 冷野

## 地の巻「報徳の法則」

第五編 無財から資財する勤行の法則

一三四 p178 仁義礼智のみが善方 (人の善性)  
、家になくえぬは 仁〃摺 義〃深 礼〃統 智〃土ら口  
、美行するは 智〃礼〃義〃仁

一三五 p159 現世の報恩勤行の大切  
季路問事鬼神。子曰、未報事人、焉能事鬼神。  
敢問死。曰、未知生、焉知死。(是論第十一) p.146

来世が良いうつたと思つても、現世で善行を為さないと

一三六 p182 「高かき天のありしを自こ意

「死生有命。富貴在天。」(是論第十二) p.165

一三七 p183 ためたせむに勤める。

「たが」途に勤めるはよくてと勤めること(事)  
心神、富、健康、毛刺之類、のたまふもの

一三八 p184 富有の道は農工商の4

世間、知者とせずはものは、淫らなるい

一三九 p185 不浄を清浄にする。

・農業者は好新なり。  
・世間、熱田に。借財に無償に。いんちあふ、farmers、  
・農業者は、心は、凶穢なり

一四〇 p186 子日、苟士、於仁一笑無善也、(是仁者一) p.38

一四一 p.186 農業の根源の道

。根えとつるの道の一卑しもの

。農民の國の大本。農業の万葉の大本。

一四二 p.188 何れ月指しと云ふのか。

。農家のは農家の勤めあり

。高者には高者の勤めあり

◎ 聖賢の徳とある万葉の書物より

Wang Yang-ming の一語の教訓の字の字

「ふんふん(又)と障子にあふ。花ふみれば

明るき方へ迷うなりやう

一四三 p.180 商売の成るの秘訣

。善手・悪手 双方に對しての利害をむきむらむい

一四四 p.190 商道の大意をすれし(け)中序第十三章

一四五 p.192 手廻りの商人

一四六 p.193 己を慕はくは事業の勤め

。ある日、無為而治者、其神也與。夫何為哉。

恭己、正南面而已矣。(御書第百十五) p.209

一四七 p.194 數事をあはする要道の道

。要道一極道

。功多くと功少くと云ふは

一四八 p.191 中庸第十三章

。子曰く、道は人に遠からず。人の道を為して人に遠きは

以て道と為す可かりず。詩に云く、柯を伐り、柄を成る。

其の則ち遠からずと。柯を執つて以て柄を成り、斲を以て

之を視て柄を成る。柄を成るは、君子の道也。人をして以て

人を以て、政ありは、